

第2学年国語科学習指導案

日 時：平成21年度 11月16日（月）6校時
学 級：大船渡市立第一中学校 2年3組
男子 17名、女子15名、計32名
授業者：教諭 白 井 ともえ

- I 単元名 五 事実と意見 筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ
II 教材名 『モアイは語る ―地球の未来―』 国語2（光村図書）
III 単元について

1 生徒について

本校では、朝読書として毎日20分間の読書活動を行っており、多くの生徒が熱心に読書に取り組み、休み時間に本を読んでいる生徒もいる。読みに向かう姿勢は比較的良好、今年5月に行ったNRT検査の結果も全国比を上回っている。

本単元と関連して、1学期には『文化を伝えるチンパンジー』において、事実と考察を読み分け、その関係に注意しながら読むという活動を行ってきた。しかし、生徒の実態から段落を丁寧に読み、要約の仕方を確認するというところに主眼を置いたため、段落相互の関係や文章全体の要旨を考えて読むという点では十分に力が付いているとは言えない。本単元では、1学期に培った力で要約したことを全体に向けて発信させたい。

また、「書くこと」に関して、実際に文章に書くとなると抵抗を感じている生徒もおり、推敲を重ねて文章を練っていくことにも慣れていない。本単元の学習を通して、生徒個々の主体的な学びにより、説得力のある表現とはどのようなものかを考えさせる授業を展開したいと考える。

2 単元について

本単元は、「筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ」ことを目的とした複合単元になっており、『モアイは語る ―地球の未来―』と『根拠を明らかにして書こう 意見を伝える』、『文法の広場2 自立語のいろいろ』、『漢字5 熟語の成り立ち』から構成されている。

本教材は、世界遺産・イースター島のモアイを取り上げている。生徒は、テレビや写真などで一度は目にしたこともあり、また、英語の教科書でも取り上げられていることからある程度の知識を持っており、興味を持って教材に臨むと思われる。

『モアイは語る ―地球の未来―』は、イースター島で起きた出来事を根拠に「人類が生き延びるために今ある有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならぬ。」ということを中心とした、環境考古学者・安田喜憲氏の説明的文章である。モアイ像やイースター島に関わる4つの疑問を読者に投げかけ、根拠を示しながら解決して自らの論を展開する進め方は、説明的文章の典型であり、生徒の立場においても迷うことなく筆者の主張へとたどりつけると考える。

このような論の展開が、説得力ある文章をもたらすことを常に意識させ、自分の意見文への表現に生かすようにさせたい。

3 指導に当たって

(1) 単元全体として

本単元は、「読むこと」と「書くこと」を扱う複合単元であることから、単元の導入で実際に本教材と同じ“環境問題”を取り上げた意見文を書かせることから始める。単元を通して自分の書いた意見文を練るために読み進めていくという活動目標を持って取り組むことで、書き手意識を持って読み取りを進めることができると考える。筆者の論の展開と、自分の文章とを比較しながら読み取ることで、説得力のある表現について、より主体的に学ぶ姿勢を支援できると考える。

また、1学期に確認した要約の仕方を活用して読み取ったことをまとめていく活動の中で、要約したことを全体に向けて発信する場を設けることで有用性に気づき、文章を正しく読み、的確に相手に伝えようとする態度を育成できると考える。

(2) 目指す言語能力

文章の論理的な展開をとらえ、筆者のものの見方や考え方を読み取り、人間・社会・自然などに関する自分の意見を持つことができる。

IV 単元の目標

【国語に対する関心・意欲・態度】

- ・論理的な文章を読む楽しさを味わい、新たな発見や驚きを通じて、未来に関する自分の考えをまとめようとしている。

【読む能力】

- ・文章の構成に着目しながら読み、段落の役割や論理の展開の仕方をとらえることができる。
- ・文章中に示された事実や根拠を的確に読み取り、筆者の意見をとらえることができる。

【書く能力】

- ・意見を支える根拠の示し方や構成の仕方を工夫して、自分の考えをまとめることができる。

【言語に関する知識・理解】

- ・語句の効果的な使い方について理解し、表現に役立てることができる。

V 指導と評価の計画（全14時間）

	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語に関する知識理解
1時間 単元の見通しを持つ。			環境問題を意識しながら意見文を書いている。	
1時間 全体を読み、大まかに内容をとらえる。	モアイ像やイースター島について興味関心を持って読み進めようとしている。	題名や終末部分から、主題を予想し、文章全体を序論・本論・結論に分けている。		構成の型を理解している。
4時間 段落の役割や論理の展開をとらえる。 (本時 4 / 4)		「地球の未来」を考えるための問題提起と結論のつながりを読み取っていくための学習課題を設定する。問題提起を把握している。		接続語、指示語に注意して読んでいる。
		本論から「イースター島」に関する記述内容を探し、要点をまとめている。(2時間)		接続語、指示語に注意して読んでいる。
		結論から「現在の地球」が抱える問題点を見つけてたり、サブテキスト等から関連する事柄を見つけてたりして「イースター島」との関連をはかっている。		
1時間 筆者の主張を理解し、自分なりの考えを持つ。	未来に関する自分なりの考えをまとめている。	筆者の主張を理解し、条件に合わせて要約している。		
1時間 根拠の順を考え、構成表にまとめる。			第1時間目にした意見文を読み返し、『モアイは語る』から学ぶべき点についてあげ、再度構成を考える。	語句の効果的な使い方について理解し、表現に役立てている。
2時間 構成表を基に、意見文をまとめる。			構成表を基に、自分の主張を導くための根拠となる事実を明らかにして意見文をまとめる。	
1時間 意見文を交流し、自分の意見文を見直す。	交流を通して自分の意見文を見直し、よりよい意見文を考えようとしている。		意見文を読み合い、よい点や改善点を話し合いながらまとめかたを振り返っている。	
2時間 自立語の性質を知る。	単語の働きに着目して言葉の働きをまとめている。			いろいろな自立語についてその性質などを理解している。
1時間 熟語の成り立ちと用法を理解する。	熟語の成り立ちに興味を持ち、辞書を使って調べようとしている。			熟語の種類と成り立ちを理解している。

VI 本時の学習

1 本時の目標

「現在の地球」の「問題点」を本論から見つけて要約し、その問題点がどのような未来をもたらすのか、記述に従って読み取る。

2 具体の評価規準

	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在の地球」の問題点の根拠となる部分をイースター島の記述から見つけ、関連させて、要約している。 ・読み取ったことを基に「未来の地球」を予測して箇条書きしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在の地球」の問題点をイースター島の記述に関連させて、要約している。 ・友達と協力しながら「未来の地球」を予測している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の要約の仕方を思い出させる。 ・結論から「未来の地球」についての記述を見つけられるよう、アドバイスする。

3 本時の展開

過程	学習活動	学習の支援及び留意事項	評価項目
導入	1 前時の学習内容の想起	1 ワークシートを基に、前時にまとめた、イースター島の問題点について確認する。	
	2 本時のねらいを確認する。		
5	イースター島の事実と現在の地球の問題点を照らし合わせ、それらをもとに、地球の未来を予測しよう。		
展開	3 「イースター島」の問題に対応する「現在の地球」に関する記述を探して、ワークシートにまとめる。	3 ①前時までに確認した、 a 人口の増加、 b 森林の破壊、 c 食糧・資源問題について、各観点毎にどのような論を展開しているか付せん紙(青)に要約させる。 *補助発問 「イースター島のまとめに対応する文を選んで書いていますか。」 「1学期の『要約のコツ』を思い出し、意味を変えずに、文を短くしていますか。」 ②要約した問題点を表に分類し、まとめさせる。(観点に従って貼らせる。) ③3～4人のグループでまとめた内容を交流し、確認させる。 ④まとめたものを発表させる。根拠となる事実を本文の記述と、イースター島の事実から示して発表させる。	【読む能力】 「現在の地球」が抱える問題点を見つけて「イースター島」の記述内容との関連をはかっている。(ワークシート)
	4 読み取った問題点をふまえて、地球の未来を予測する。		
40	5 現在の地球の問題点について、自分なりの考えを持つ。	4 ①問題点が改善されないと地球はどうなるのか、文章から予測する。 ②予測したことをグループでモアイが語る形の文章にまとめる。 ③いくつかのグループに発表させる。 5 ①現在の地球には具体的にどんな問題があるのか、補助資料や自分の予備知識の中から探し、付せん紙(黄)に書き、貼らせる。	【読む能力】 問題点が改善されないとき、地球はどうなるのか、本文の記述に従って未来を予測し、表現している。(ワークシート)
終末	6 学習のまとめ	6 ①本時の授業を振り返り、感想をまとめる。 ・内容に関しての感想 ・本時の授業から自分の作文に生かせること	
5	7 次時の予告		